

## 2 - 1 重点事業評価

事業名

多様なニーズに対応できる情報サービスの充実

### (1) 事業の概要

#### ● 対象

子どもから高齢者・研究者まで、すべての年代の県民と本県に関心のある全国の人たち。

#### ● 意図・目的

子どもから子育て世代、高齢者まで、幅広い年代向けの資料を収集するとともに、新潟県に関する郷土資料及び研究者のニーズに応える専門書の充実を図ることにより、更なる利用の促進を図る。

#### ● 具体的取組の概要

- ①新潟県に関する郷土資料の収集保存と提供について、網羅的収集により受入冊数を増やすとともに郷土人物・郷土作家コーナーを拡張するなど提供方法を工夫することで更なる利用の促進を図る。また、郷土資料の利用促進のため、郷土資料雑誌記事索引データベースの採録タイトル数の増加に取り組む。
- ②暮らしと仕事に役立つ各情報コーナー（くらしガーデン、家庭と子どもの本、第2のオフィス、ユースなど）と課題解決支援文庫（人生節目の「3活」支援）の充実を図るとともに、関連する講演会や講座、各種展示などを開催することにより、県民の生涯学習や課題解決を支援する。
- ③県民の多様かつ高度・専門化する調査研究活動を支援するため、専門書・研究書の整備に努めるとともに、パスファインダーを充実させてホームページで公開するなど調査相談機能の更なる充実を図る。

### (2) 指標①

| 項目（指標）    | 本年度の達成目標（数値） | 実績               |
|-----------|--------------|------------------|
| 郷土資料の受入冊数 | 年間 3,000冊    | 3,566冊<br>(119%) |

(平成28年度実績：2,088冊)

### 指標②（本年度の目標）

| 項目（指標）                 | 本年度の達成目標（数値） | 実績                |
|------------------------|--------------|-------------------|
| 郷土雑誌記事索引データベースの採録タイトル数 | 110タイトル      | 111タイトル<br>(101%) |

(平成28年度までの実績：99タイトル)

### (3) 事業評価（自己評価）

|      |   |  |
|------|---|--|
| 自己評価 | A | 郷土資料受入冊数は、目標数値を大きく上回った。雑誌記事索引採録タイトル数は、目標数値を達成した。 |
|------|---|--|

AA 目標が十分に達成された。 A 目標が達成された。  
B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。

※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

| 項目  | 項目の解説                          | 状況   |
|-----|--------------------------------|--|
| 必要性 | 利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。    | 郷土資料の収集・保存及び活用のための環境を整えることは、県立図書館の重要な使命のひとつであり、指標設定は妥当と考えられる。  |
| 有効性 | 期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。 | 郷土資料の受入冊数は前年度を大幅に上回り、雑誌記事索引採録タイトル数も目標値を上回る実績をあげ、郷土資料の充実につながった。 |

|     |                                |   |
|-----|--------------------------------|---|
| 効率性 | 事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。 | 郷土資料の収集については、職員体制を強化しつつ、過去に遡って資料を収集するなど、重点的に取り組んだ。雑誌記事索引データベースについても、重点的に取り組み12タイトル増加するなど、郷土資料の利用促進につながる成果を得られた。 |
|-----|--------------------------------|---|

(4) 次年度の展開

|   |
|---|
| 方向性・問題点・改善点など   |
| 郷土資料の収集保存・活用は、県立図書館の重要な使命であることから、引き続き、網羅的収集を目指して出版情報の広範囲な収集に努めるとともに、収集した資料の整理と保存、活用環境の整備に取り組んでいく。 |

(5) 図書館協議会意見

|   |
|---|
| <p>今年度の指標として設定した「郷土資料の受入冊数」と「郷土雑誌記事索引データベースの採録タイトル数」について、設定した達成目標値を上回る実績であったことについては評価される。ただし、郷土資料に関しては「収集」と「利用環境の整備」という取り組みだけではなく、その利用実態や利用促進に向けた取り組み（広報活動など）も実績として明らかにする必要がある。</p> <p>さらに、本事業の概要として提示された「対象」「意図・目的」「具体的取組の概要」を踏まえると、その実績を郷土資料に関する上記2つの指標のみで評価することについてはやや無理がある。県民の課題解決や調査研究活動の支援においては、図書の一部に収録された情報を提供することも多いのではないかと考えるが、そうした実績が評価できない。また、実際には県の施策と連動した展示や「県立図書館ルネサンス事業」として多彩なイベント等を実施しており、その実績は本事業の評価対象となりえるものである。多様なニーズに対応した情報サービスの取り組みを実績として表す指標を設定することにより、総合的な観点からの評価を行う必要がある。</p> <p>新たな情報サービスの取り組みにも期待したい。例えば、郷土資料で貸出不可となっている図書について、非来館利用が可能のように、著作権に抵触しない範囲でデジタル化とインターネットによる発信ができないか、という希望が出されている。</p> |
|---|

